

<b>&lt;校訓&gt;</b> 高志共生	<b>大庄中通信</b>	大庄中学校 H27年度 第11号 (H27.9.25金)
---------------------------	--------------	------------------------------------

## ～魂～仲間と共に絆を深めた 体育大会

今年の体育大会、時折、顔を覗かせる太陽の陽射しを雲が隠してくれる絶好の体育大会日和のもと開催できました。9月に入って雨の日が多かったため、なかなか予定通りに練習が進みませんでしたでしたが、生徒達は、雨の影響をみじんも感じさせない魂で、素晴らしい体育大会の1日にしてくれました。

### 伝説じいとうな 今年の「大庄ソーラン」

特に素晴らしかったのは、3年生の「大庄ソーラン」でした。先輩達が築き上げてきた「大庄ソーラン」の伝統を今年も見事に受け継ぎ、それどころか一段と進化した魂のこもった気迫みなぎる「大庄ソーラン」を披露してくれました。「さすが今年の3年生!」と感涙にむせびました。昨年の体育大会のとき、本部席のあたりでご覧になっていた保護者が「来年、うちの子らも同じようにできるやろか…」と心配されていましたが、「同じように」どころか、開校から10年間で最高と言ってもいい「大庄ソーラン」でした。「あの10期生のソーランはすごかった…」と永く伝説として語り継がれるであろう今年のソーランだったと思います。

山田くんの大太鼓で集まってきたときの緊張感と3年生全員の「気合い」。本部席にも張り詰めた空気がピンピンと伝わってきました。各クラスの口上の時から涙を流している生徒もいましたね。これで最後という演技を目前にして感極まるのは、真剣に取り組んできた証でしょう。ソーランは、腰を深く落したり脚を大きく曲げ伸ばしする動きが続き、筋肉にも肺や心臓にもかなりの負荷がかかります。中には、身体の柔軟性や筋力の弱い人もいるはずですが、一つ一つの動きやかかけ声は、ほぼ完璧に近い出来でした。

これまでの卒業生も、体育大会当日には素晴らしい大庄ソーランを披露してくれてきたのですが、「練習からもう少し真剣に取り組んだらもっと素晴らしくなるのに…」と思うことが数年前までは続いていました。しかし、今年の3年生は、練習からとても一生懸命でした。体育館での学年練習から聞こえてくるかけ声も気合い十分でした。担任の先生方の学級通信によると、細かいところの動きや課題がなかなかできがらなかったようです。しかし、3年生の魂と絆で、放課後にも練習をやったことの成果や、たくさんの人からの応援や後押しもあって、伝説になりそうなあの「大庄ソーラン」ができたのでしょう。

スタート前の3年の先生方へのサプライズも、先生方にこみ上げるような感激をプレゼントしていましたね。

心あたたま麗しい「大庄ソーラン」を空に向かって咲かせ、熱く力強い太陽のように燦々と輝き、共に助け合い想い合う大きな愛を力に変えた今年の「大庄ソーラン」。「舞台裏は見せない」ことが大切な演技前の法被の配付と更衣では少し残念なところがありましたが、退場後の閉会式参加のための素早い整列も含めて、ほぼ100点満点と言っていい最高の「大庄ソーラン」でした。

## 総合優勝は全学年ともに「3組」

総合優勝は、3学年とも3組が栄冠に輝きました。得点表を見ますと、1年生と2年生は大差の優勝、3年生は競技だけなら1点差で負けていた3組が入場行進1位の5点加算を加えて逆転優勝しました。

3年 優勝3組 (154点)	準優勝4組 (150点)
2年 優勝3組 (149点)	準優勝2組と4組 (110点)
1年 優勝3組 (146点)	準優勝2組 (116点)

## 行進も全学年3組が「1位」

開会式の入場行進は、来賓の方を中心に採点をしていただき、1位のクラスにはクラス対抗得点に5点が加えられます。今年は、こちら、3学年とも3組が1位でした。

行進は、短い練習時間で、身長差による歩幅の違いや曲走路を歩くことの難しさもありますから、音楽のリズムに合わせてきびきびとした動きでかつきれいに歩くのは、なかなか難しいものです。しかし、今年は、どの学年とも、いい表情で、全体の動きもよくそろっていました。ダラダラした歩き方の生徒やふざけたような態度の生徒はほとんどいませんでしたので、見ていて気持ちのいい、自然でさわやかな印象を与えてくれる行進でした。

吹奏楽部も、人数が少ない中、歩きやすいテンポと音量の演奏を披露してくれました。さすがです。ファンファーレから入場までの荘厳な雰囲気も式典にふさわしいものでした。

## 競技・ラジオ体操・観覧態度・式典も素晴らしかった

今年の体育大会で素晴らしかったのは、大庄ソーランと行進だけではなく、

競技・演技も、数年前は競技中なのにふざける生徒が少しいたりもしましたが、今年はそんな生徒は皆無でした。ラジオ体操も、3年生を中心にしっかりやってくれました。これも、数年前はダラダラした体操をする生徒が目につきましたが、今年はそういう生徒はほとんどいませんでした。体育大会のラジオ体操には、集団での演技と体操としての身体的な効果という二面があります。運動不足の解消やダイエット効果、血行促進や内蔵への刺激など健康への効果もありますから、ぜひラジオ体操のポイントを覚えて、学校を卒業してからの健康的な生活に役立させてほしいと思います。

生徒席での観覧・応援の態度も良かったと思います。今年は、2・3年生の応援の盛り上がりも楽しかったのですが、1年生の観覧態度がとても良かったと感じました。

開会式・閉会式の式典中もはじめのついた態度でした。以前は、式典中に私語をするような生徒もいましたから、隔世の感です。成績発表のときぐらい、もう少し大喜びしてもいいのにと思うくらいきちんとした態度を続けていました。

## 来年を楽しみな2年生

2年生の学年演技でのカウボーイとカウガール達の闘争心や大盛り上がりも、来年の体育大会での活躍を期待させてくれるものでした。

## 不滅の大会記録を更新 ミスター大庄

フリー種目の「ミスター大庄」では、当分やぶられないと思われていた大会記録(5分14秒)を3年の梶川 恒輝くんが大幅に更新しました(6分04秒)。(文責:校長 福井 隆夫)

